

大災害からの学び

～女性視点を取り入れ地域防災力を高める～

大規模災害は、誰もが被災者になる可能性をもたらします。被災時には、女性や子どもなどへのきめ細やかな配慮が求められ、支援のあり方も多様な視点から見直されるべきです。本講座では、防災における「女性の視点」、「地域で日頃からできる取り組み」について学びます。



講座内容

- ・災害関連死ゼロをめざし、誰一人取り残さない被災者支援
- ・ジェンダー視点からみた避難所での課題
- ・災害時における女性リーダーについて
- ・平時における繋がりが大事であること

開催日時

令和7年

8/22 金

10時00分 ▶ 12時00分

会場

新宿区男女共同参画推進センター
3階会議室

対象

区内在住・在勤・在学 先着15名

申込み

7月28日(月)～8月21日(木)
までに二次元コードまたは電話
でお申込み下さい。先着順です
(託児無料:8月6日(水)までに予約。
先着3名。)



講師

小山内 世喜子(おさない・せきこ)一般社団法人男女共同参画
地域みらいねっと代表理事託児あり
～就学前個人情報の
取扱いに
ついて

お申込みの際にお伺いする個人情報は

①講座開催の予約確認②突発的事情による中止などの連絡③講座実施方法の連絡④受講者の年代に合わせた講義の準備にのみ使用し、それ以外の目的では使用しません。

講師 紹介

小山内 世喜子

おさない・せきこ

一般社団法人男女共同参画
地域みらいねっと代表理事



青森県防災アドバイザー、防災士、国家資格キャリアコンサルタント

1995年第4回世界女性会議NGOフォーラムに参加。以後、男女共同参画社会づくりに取り組む。2007年から青森県男女共同参画センターを指定管理者として運営、副館長を務める。2017年から現職。

東日本大震災以降「防災と男女共同参画」をテーマに防災人材育成研修やジェンダー視点を取り入れた防災教育、避難所運営訓練を市民・若年層・行政職員などのべ35,000人以上を対象に全国で実施。参加者の主体性を尊重した「誰一人取り残さない」地域づくりに貢献。2024年1月の能登半島地震以降、10回にわたって被災地穴水町などの被災者支援に入り、避難所の開設、運営にも携わる。NHK「日曜討論」「おはよう日本」などに出演。

第5回ジャパンSDGsアワードにて「特別賞」受賞。国(内閣府、文部科学省)の有識者会議委員、内閣府男女共同参画能登半島地震対応状況調査委員会委員、山梨県防災会議地震部会委員も務める。青森市在住。



※ 駐車場・駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用ください

交通案内

電車

- 都営地下鉄新宿線「曙橋駅」A4出口から徒歩約3分
- 東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」から徒歩約10分

バス

- 都営バス 宿75(新宿駅西口～三宅坂/東京女子医大前)「合羽坂下」から徒歩約1分
- 高71(高田馬場駅前～九段下)「合羽坂下」から 徒歩約2分
- 白61(新宿駅西口～練馬車庫前・練馬駅)「曙橋」から徒歩5分

